



# 尾久西だより

荒川区立尾久西小学校  
発行日 令和3年5月28日  
発行者 校長 芝田智昭

No. 361 6月号

## 言葉の大切さ

副校長 水野 美津子

### 『ひとつのことば』

ひとつのことばで けんかして	ひとつのことばで なかなおり
ひとつのことばで 頭が下がり	ひとつのことばで 心が痛む
ひとつのことばで 楽しく笑い	ひとつのことばで 泣かされる
ひとつのことばは それぞれに	ひとつの心を持っている
きれいなことばは きれいな心	やさしいことばは やさしい心
ひとつのことばを大切に	ひとつのことばを美しく

言葉の大切さを詠んだ北原白秋の詩です。

先日、校庭で離任式が行われ、去られた先生方との久しぶりの再会に子供たちも嬉しそうでした。いつもなら握手をして先生方を見送るのですが、今年は我慢です。この時期の一コマとして、休み時間になると6年生が泣いている1年生をおぶったり、頭をなでたりする姿を見かけますが、今はできません。6年生を担当していた頃、とてもやんちゃな子がクラスにいました。すぐにカッとなってけんかを繰り返していた子でしたが、1年生と接する時はとても優しい顔になり、素敵なお兄さんになるのです。力があるので、休み時間は1年生をおぶり一緒に遊んであげていて、1年生から大人気でした。

手をつないだり頭をなでたりするなどの肌と肌の触れ合いは、気持ちを落ち着かせる幸せホルモンを分泌させるのだそうです。スキンシップがとれない今、以前に比べて子供たちだけでなく社会全体でストレスが増加しているのではないかと心配になります。スキンシップを補うのは、やはり言葉です。言葉は、「自分の気持ちと相手への思いやりを伝える大切な道具」です。先ほどのやんちゃな男の子の言葉は、ぶっきらぼうで短かかったですが、相手を思いやる優しい気持ちを1年生たちは感じ取っていたのでしょう。

何気ない一言で相手を喜ばせたり、悲しませたりする言葉。言葉はとても大きな力を持っているのです。私たち教員もそれを心にとめ、日々子供たちに声かけをしていかななくてはならないと感じます。

明日は、いよいよ運動会です。今年度は、PTAのご協力により会場にお越しになれないご家族の方にも、動画配信により運動会の様子を見ていただけることになりました。幸せホルモンがたくさん分泌されるよう、子供たちの頑張りを褒める言葉を例年以上にたくさんかけてあげてください。